

在宅テレワークのためのリモートデスクトップ接続方法（1）
【職場 PC 以外に自宅で使える WindowsPC, Mac, ChromeBook 等がある場合】

目次

1 概要.....	2
2 接続準備（サーバ）.....	3
2.1 職場 PC へのシン・テレワークシステム（サーバ）のインストール.....	3
3 接続準備（クライアント）.....	9
3.1 Windows の場合 自宅の WindowsPC へのシン・テレワークシステム（クライアント）のインストール.....	9
3.2 Mac、ChromeBook 等の場合 自宅の Web クライアントからの接続.....	12

1 概要

- ・自宅から普段自分が使っている職場 PC にリモート接続して業務を実施できるようになります。
- ・文書管理システムや教務システム、各種ファイルサーバなど、普段職場 PC で利用している全てのシステムが利用できます。
- ・財務会計システムや人事給与システムは利用できません。
- ・リモート接続中の操作画面は、職場 PC の画面には表示されません。

＜必要なもの＞

- ・職場 PC (Windows)
- ・自宅 PC (Windows,Mac,ChromeBook 等)

＜必要な作業＞

- 1) 職場 PC へのシン・テレワークシステム (サーバ) のインストール
- 2) 職場 PC の電源を切らずに帰宅
- 3) 自宅 PC へのシン・テレワークシステム (クライアント) のインストール
または Web クライアントからの接続
- 4) 1~2 日に 1 度は再起動。(誤ってシャットダウンした場合は接続できません。)

※NTT 東日本-IPA 「シン・テレワークシステム」については以下参照

<https://business.ntt-east.co.jp/service/thintelework-system/>

＜注意事項＞

- ・リモート接続できなくなった場合は自分で職場 PC を確認 (ICT での確認・対応は不可) してください。
- ・リモート接続中に WEB 会議は実施しないでください。
WEB 会議に接続する場合はリモート接続元の PC (自宅 PC) で実施してください。
- ・リモート接続時の操作性能は職場 PC に依存します。

2 接続準備（サーバ）

2.1 職場 PC へのシン・テレワークシステム（サーバ）のインストール

- 1) 以下のリンクからインストーラーをダウンロード

<https://telework.cyber.ipa.go.jp/download/>

※ 必ず「Windows 版共有機能無効版サーバ」を選択してください。

※ 共有機能の利用は禁止しています。

その時点での最新版を選択

以降の画像等若干説明が

異なる場合があります

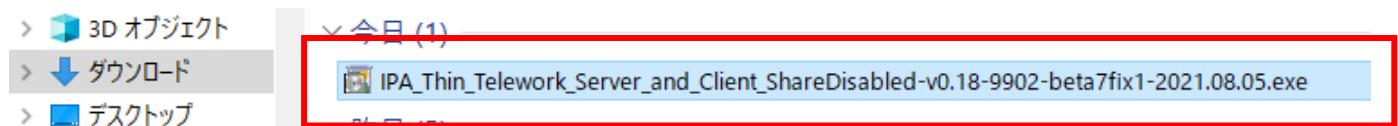
1. NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」の Windows 版フルパッケージのインストーラのダウンロード（約 46MB）
サーバー（共有機能有効版）+ サーバー（共有機能無効版）+ クライアントのセットです。通常はこれをダウンロードしてください。
インストール時に、いずれのソフトウェアをインストールするか選択する画面が表示されます。

2. NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」の Windows 版共有機能無効版サーバーのみ同梱（クライアントも入っています）のインストーラのダウンロード（約 44MB）
サーバー（共有機能無効版）+ クライアントのセットです。企業のセキュリティポリシー上、共有機能無効版のみを従業員に配布したい場合などご利用ください。

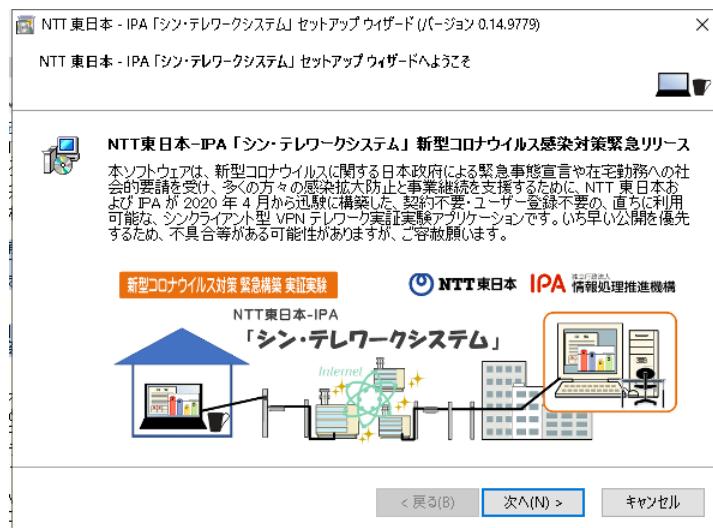
3. NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」のクライアントのみの ZIP ファイルのダウンロード（約 27 MB）

クライアントソフトウェアのみが入っている ZIP ファイルです。内部のファイルをすべて展開して ThinClient.exe を実行します。インストーラはありませんので、一時的に PC をクライアントとして

- 2) ダウンロードした exe ファイルを実行する

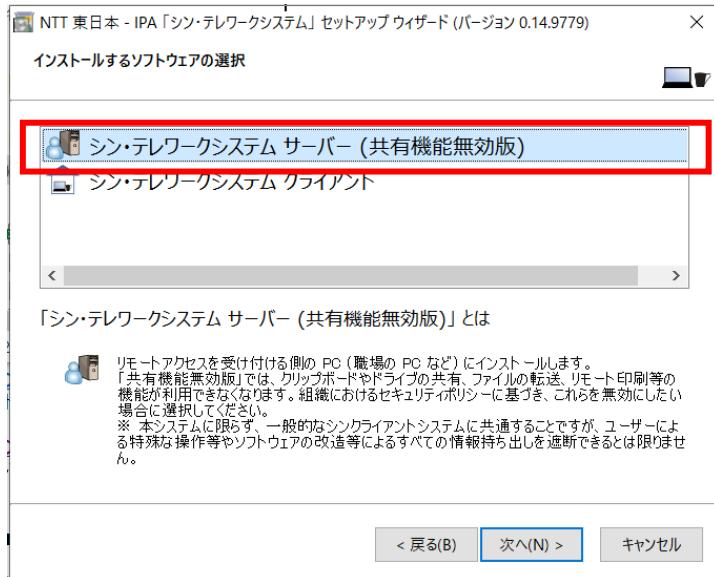


- 3) 「次へ」をクリック

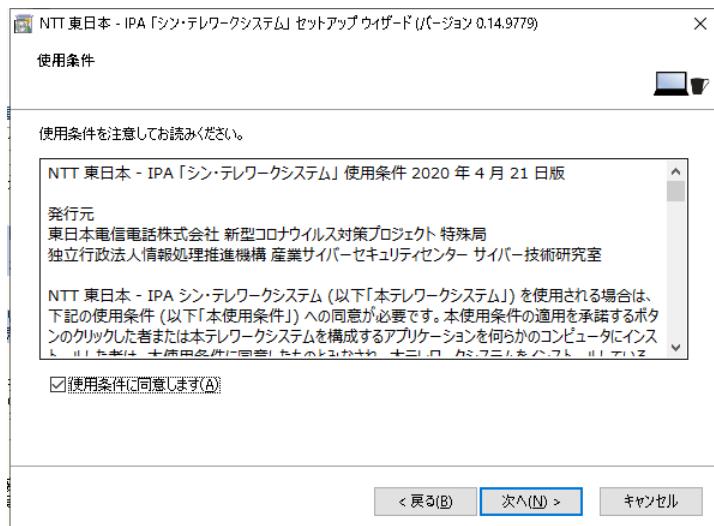


- 4) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と聞かれたら「はい」をクリック

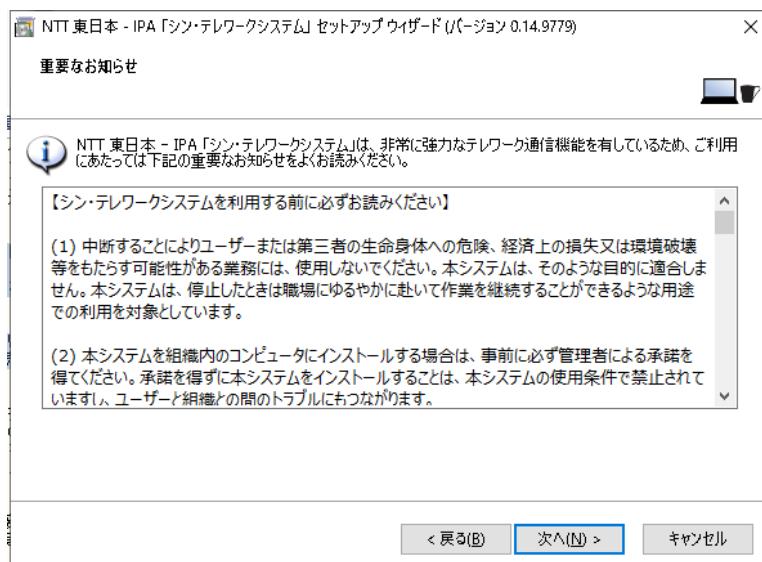
5) 「シン・テレワークシステム サーバー (共有機能無効版)」を選択して「次へ」をクリック



6) 使用条件を注意して読み、「使用条件に同意します」にチェックを入れて「次へ」をクリック



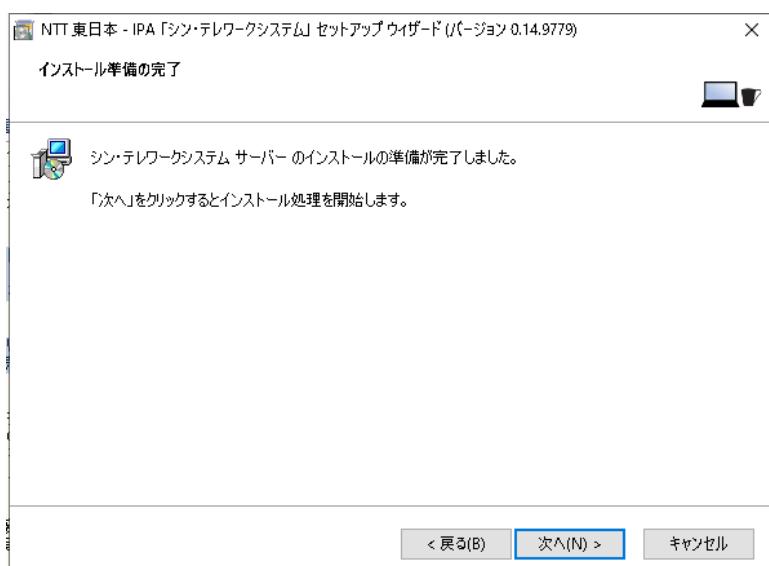
7) 重要なお知らせをよく読み、「次へ」をクリック



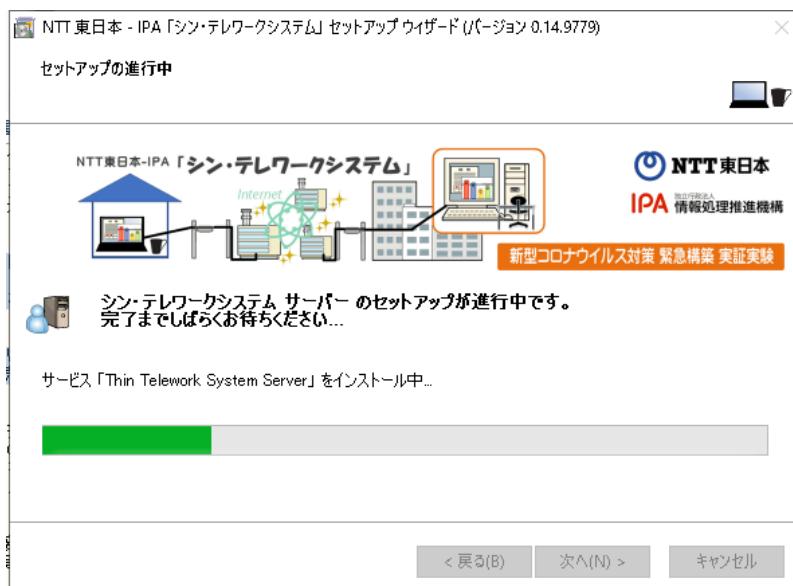
8) インストール先は変更せずに、そのまま「次へ」



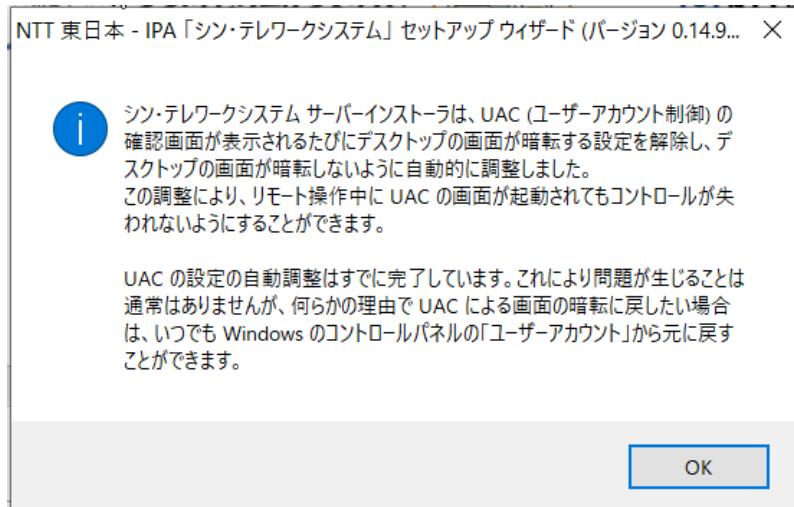
9) 「次へ」をクリック



10) 「次へ」をクリック



11) 「OK」をクリック



12) 「・・・初期設定を行います。」のチェックを外さずに、「完了」をクリック



13) 「パスワードを今すぐ設定する」をクリック



14) パスワードを設定して、「OK」をクリック

セキュリティ設定

シン・テレワークシステム ソフトウェアのセキュリティ機能により、このコンピュータに対する不正なアクセスや通信内容の盗聴・改ざんなどを防ぐことができます。

パスワードのみによる簡易ユーザー認証

 このコンピュータにシン・テレワークシステム クライアントがリモートアクセスしようとした際にユーザー認証を要求します。

パスワード認証を使用して、このコンピュータを安全にする(P)

 パスワード認証を使用すると、このコンピュータにリモートアクセスする際にパスワードが要求されます。正しいパスワードを知らないと、このコンピュータにリモートアクセスできません。

パスワード(W): 12345678
確認入力(C): 12345678

高度なユーザー認証機能の設定

高度なユーザー認証機能を使用すると、ユーザー名とパスワードによる認証や、外部のRadiusサーバーや Active Directory サーバーを使用した認証、X.509 証明書を利用したPKI認証などが利用できるようになります。パスワードのみによる簡易ユーザー認証は利用できなくなります。

高度なユーザー認証機能を使用する(A)

ユーザーの管理(U) 信頼する証明機関の証明書(T)
外部認証サーバーの設定(R) 無効な証明書(V)

自宅 PC から職場 PC に接続する際のパスワードを設定します。

ワンタイムパスワード(OTP)機能(二要素認証)

 毎回必ずログイン時に事前設定したメールアドレスにワンタイムパスワード(OTP)が送付されるようになります。OTPが一致なければログインできません。セキュリティポリシー上、二要素認証の利用が必須の企業環境で利用できます。

ワンタイムパスワード(OTP)機能の設定

通信の暗号化と盗聴・改ざんの防止

 シン・テレワークシステムは常にRSA暗号化アルゴリズムによって通信データを暗号化しています。インターネットを経由して通信を行う際は、TLSプロトコルを使用し、X.509証明書およびRSA秘密鍵を検査して、盗聴・改ざんが行われていないかをチェックします。

TLSプロトコルにおける証明書の検証を有効にする(V)

一部のプロキシサーバーやファイアウォールを経由する際に証明書エラーが発生する場合は、このチェックボックスを解除してみてください。ただし、このチェックボックスを解除すると、インターネット上の第三者によって通信データが盗聴・改ざんされる危険性が発生します。

IPアクセス制御リスト(R)

 クライアントコンピュータのIPアドレスによって、このサーバーへのVPN接続を許可または拒否することができます。

IPアクセス制御リスト(L)

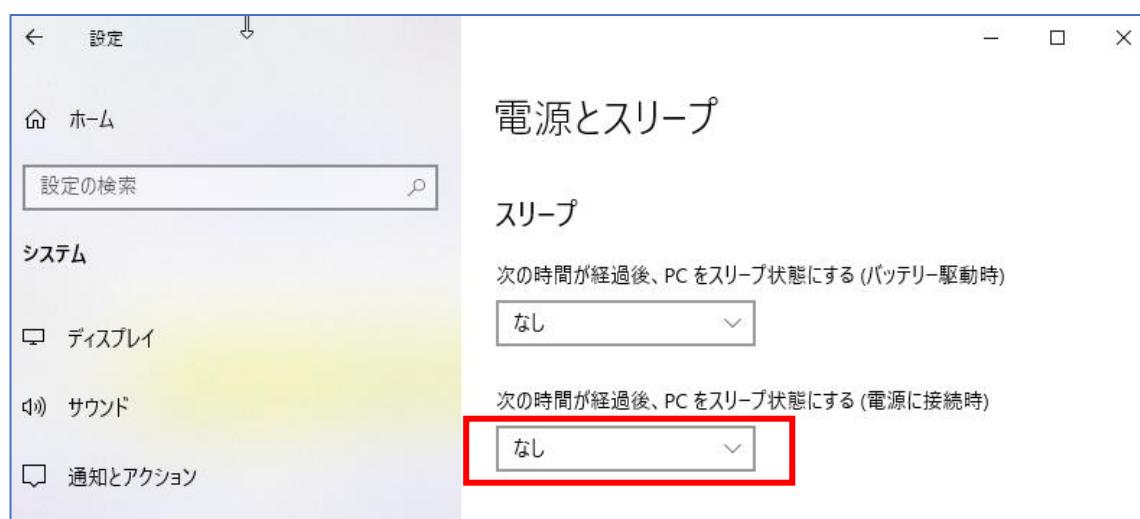
固有IDの表示(H)... OK キャンセル

15) コンピュータ ID をメモする。(自宅 PC で入力します。)



※職場 PC がスリープしないように設定

Windows スタートボタン ⇒ 設定（歯車マーク）⇒ システム ⇒ 電源とスリープ



職場 PC での設定は以上となります。職場 PC の電源を切らずに帰宅してください。

3 接続準備（クライアント）

3.1 Windows の場合

自宅の WindowsPC へのシン・テレワークシステム（クライアント）のインストール

- 1) 以下のリンクからインストーラーをダウンロード

<https://telework.cyber.ipa.go.jp/download/>

最新版のダウンロード - **2021/08/05 公開版 Ver 0.18 (Beta 7 Fix 1) ビルド 9902**

用途に応じて、以下のいずれかをダウンロードしてください。過去バージョンの更新履歴はごちら

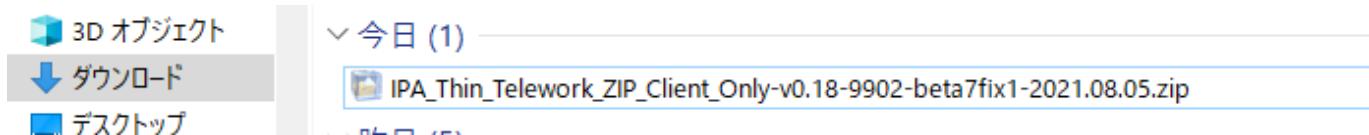
1. **NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」の Windows 版フルパッケージのインストーラのダウンロード (約 46MB)**
サーバー（共有機能有効版）+ サーバー（共有機能無効版）+ クライアントのセットです。通常はこれをダウンロードしてください。
インストール時に、いずれのソフトウェアをインストールするか選択する画面が表示されます。

2. **NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」の Windows 版共有機能無効版サーバーのみの同梱（クライアントも入っています）のインストーラー**
サーバー（共有機能無効版）+ クライアントのセットです。企業のセキュリティポリシー上、共有機能無効版のみを従業員に配布したい場合などにご利用ください。

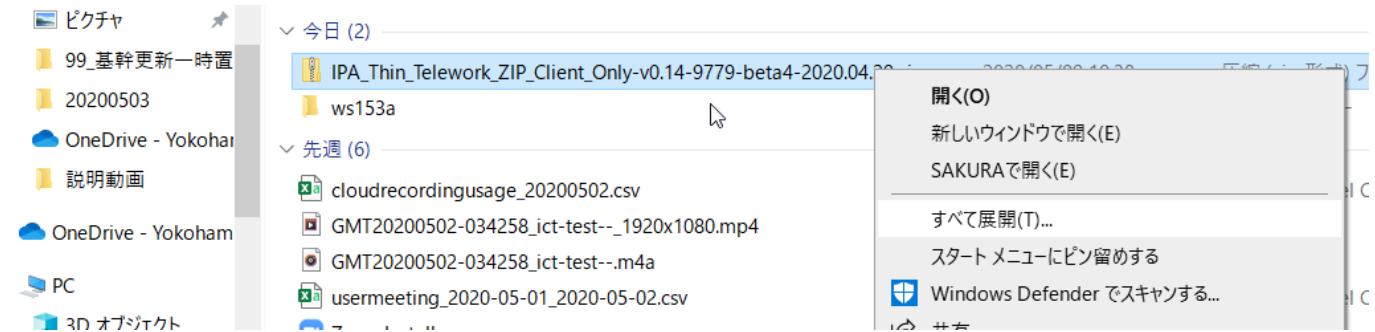
3. **NTT 東日本 - IPA「シン・テレワークシステム」のクライアントのみの ZIP ファイルのダウンロード (約 27 MB)**
クライアントソフトウェアのみが入っている ZIP ファイルです。内部のファイルをすべて展開して ThinClient.exe を実行します。インストーラはありませんので、一時的に PC をクライアントとい

その時点での
最新版を選択

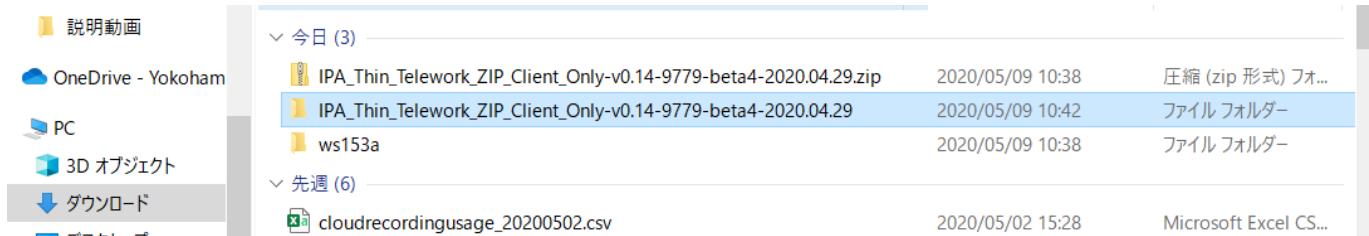
- 2) zip ファイルをダウンロードする際、分かりやすい場所に保存します。



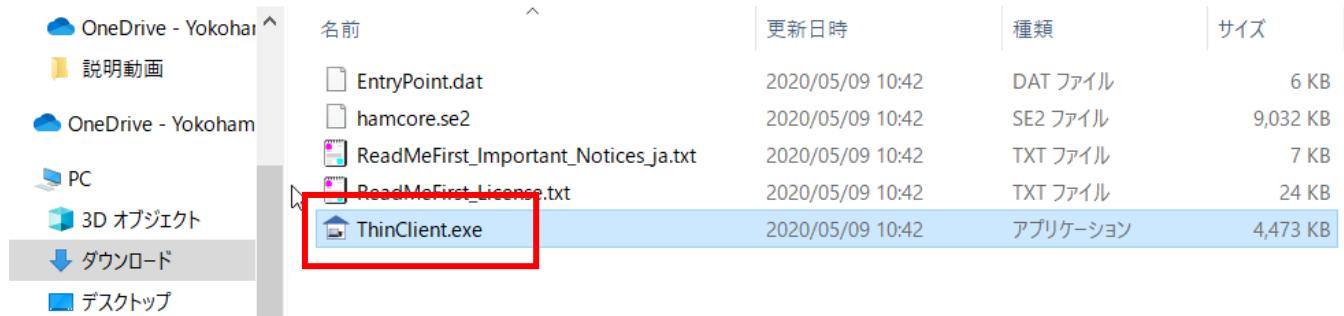
- 3) zip ファイルを右クリックして、「すべて展開」をクリック



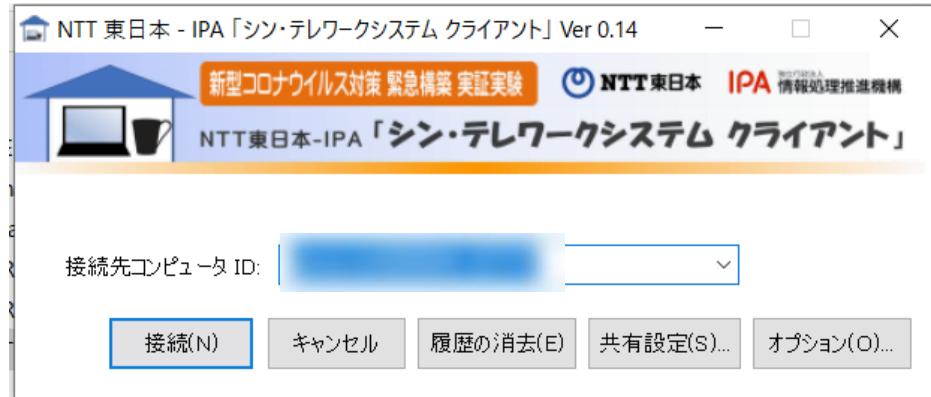
- 4) 展開したフォルダ内へ移動



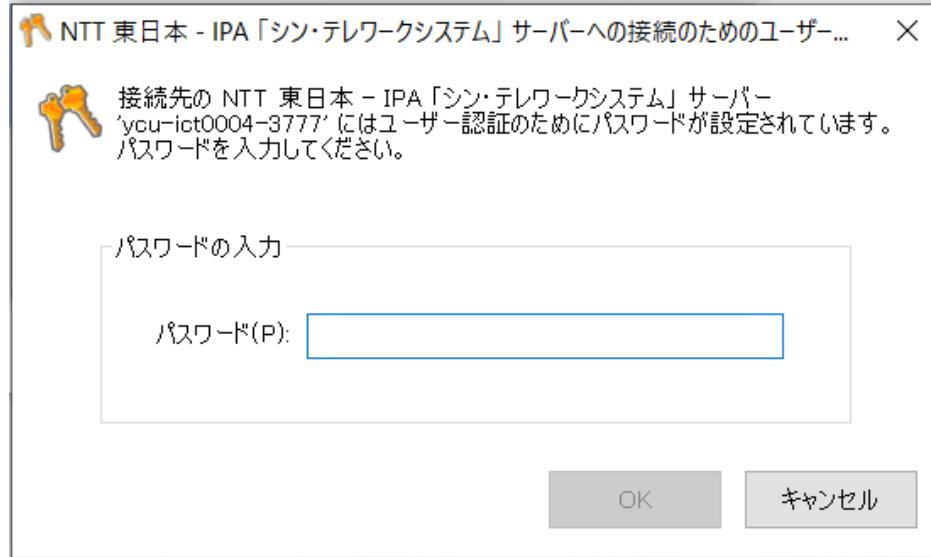
5) 「ThinClient.exe」を実行する。(以降、職場 PC にリモート接続したい場合はこれを実行)



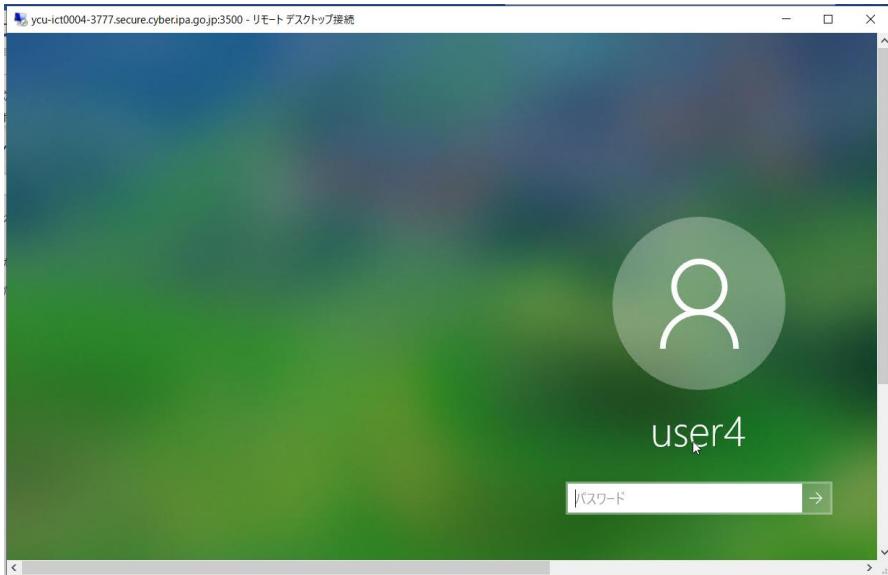
6) 接続先コンピュータ ID に、2.1 の 15)でメモしておいたコンピュータ ID を入力します。



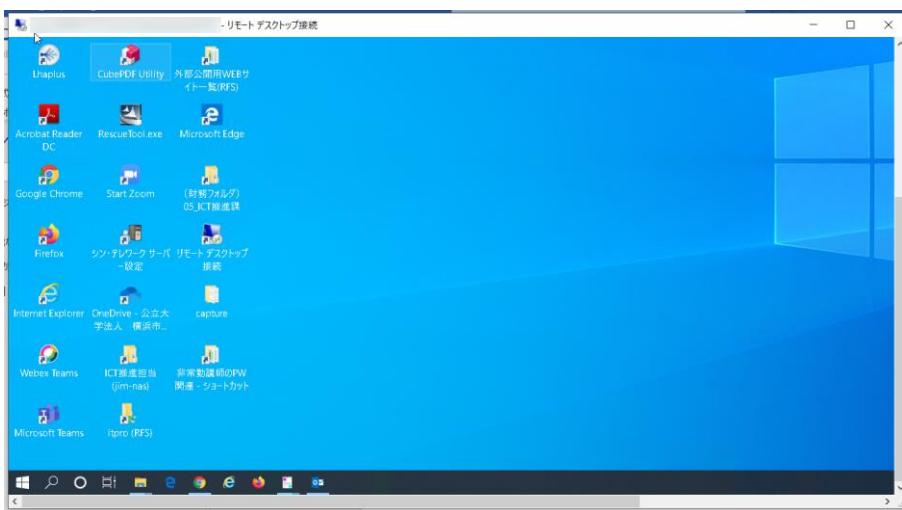
7) パスワードに 1 の 14)で設定したパスワードを入力します。



8) 職場 PC のログイン画面が表示されます。
職場 PC にログインする際のパスワードを入力します。



9) 職場 PC のデスクトップ画面が表示されます。



10) 電源を切らずに使い続けていると、PC の処理速度が落ちることがあります。その場合は再起動を実行してください。再起動中はリモートデスクトップが切断されますが、再起動後に PC が完全に立ち上がれば再度リモート接続が可能です。なお、誤ってシャットダウンしてしまった場合には、職場 PC を直接電源ボタンから起動しない限り、再接続はできません。

11) 終了時は、セキュリティチェックを再実行した後、リモートデスクトップ画面の右上のバツ印で終了してください。

自宅 PC での設定は以上となります。

3.2 Mac、ChromeBook 等の場合

自宅の Web クライアントからの接続

1) 以下の「IPA シン・テレワークシステム HTML5 版 Web クライアント」にアクセスします。

<https://webapp.telework.cyber.ipa.go.jp/>

2) 「接続先コンピュータ ID」に 2.1 の 15)でメモしたコンピュータ ID を入力し、「このコンピュータ ID にリモート接続」をクリックします。パスワード入力画面が表示されたら 2.1 の 14)で設定したパスワードを入力します。



NTT 東日本 - IPA シン・テレワークシステム HTML5 版 Web クライアント

HTML5 版 Web クライアントを使用すると、Web ブラウザから職場の「シン・テレワークシステム サーバー」端末に接続し、Windows デスクトップにリモートログインできます。自宅の Mac や ChromeBook などの端末から、職場の Windows を安全・快適に、全画面で操作できます。

接続先コンピュータ ID:
ID
このコンピュータ ID にリモート接続

操作方法のヘルプ

Wake on LAN 機能

Mac 等の Web クライアントから WindowsPC を操作する場合、キーボード操作に違いがあります。
「操作方法のヘルプ」を参考にしてください。